
パソコンのゴミ箱3(狂人仮死バージョン)

敬愛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パソコンのゴミ箱3（狂人仮死バージョン）

【Nコード】

N1121T

【作者名】

敬愛

【あらすじ】

なろうでははぐれメタルなみにレアな統合失調症という病気の僕、敬愛が贈る詩集第三弾！狂人仮死（歌詞）集って事で歌っぱいのが大半を占めてますがまあ誰も歌いたくないだろう。こんな歌詞。

制作期間は僅か二週間。評価は分かれるんじゃないかな？と今から心配なのだが・・・。

詩のタイトルの後ろに（AA）とか（BB）とついていますが、

AAがaction alive BBが black blo
odの略でAAは正気の詩で
BBが狂気の詩って事になってます。

全三十篇で一週間毎、日曜九時に更新しますのでアニメのトリコの方が面白いぜ！っていう人はトリコ見て下さい。（笑）

予約投稿済みで11月27日に終わります。でその一週間後が敬愛なろう活動二周年！とめでたい。

その間は詩のストックしたり、更新してない小説の連載に力を入れます。予定だけど。じゃあ楽しんで下さい。お前のせいで吐いちゃったよって人は感想で苦情下さい・・・。

あ、全部は期間の都合で予約投稿出来なかった・・・。ついで言うとうと途中で面倒臭くなったので詩集シリーズに入れてなかった旧作が歌詞っぽかったので四篇再収録しております。全部新作が良かったっていう人はゴメンナサイ。

百億の瞳さ（A A）（前書き）

第一篇目からいきなり実験的な作品を投入する僕は結構大胆。

百億の瞳さ（A A）

ヤイヤイヤーモアイイースター島
ヤイヤイヤーモアイイースター島

カメカメカメハメハリハスタキラキラ
カメカメカメハメハリハスタキラキラ

アクセスアクセステクニカルマヤマジコン
アクセスアクセステクニカルマヤマジコン

パパアワパワパワフルパワワラカパワーマシン
パパアワパワパワフルパワワラカパワーマシン

ゲゲゲゲットチャンスミヨタイヨー鮮やか
ゲゲゲゲットチャンスミヨタイヨー鮮やか

王国がここにある 王国がここにある
日が昇るよ 日が昇るよ
天子様の国さ アアアイランド

イケイケ乗り込んで揺らせ 羽ばたけ
光の源 水たまりの奥底 キラキラ ピカピカ

シヨッキジヨッキ乾杯 今夜はパーティー
打ち鳴らせ カチンカチン

クロスクロスタイムロンガ - 終わらない
トラベラー 酒を携え

行こう行こう 始まるよ 乗り遅れるな
ハッピーバースデイズ 百億の瞳さ

ヤイヤイヤーモアイイースター島
ヤイヤイヤーモアイイースター島

カメカメカメハメハリハスタキラキラ
カメカメカメハメハリハスタキラキラ

アクセスアクセスクテクマクマヤコン
アクセスアクセスクテクマクマヤコン

パパアワパワパワフルパワヤワラカパワーマシン
パパアワパワパワフルパワヤワラカパワーマシン

ゲゲゲゲットチャンスミヨタイヨー鮮やか
ゲゲゲゲットチャンスミヨタイヨー鮮やか

王国がここにある 王国がここにある
日が昇るよ 日が昇るよ
天子様の国さ アアアイランド

イケイケ乗り込んで揺らせ 羽ばたけ
光の源 水たまりの奥底 キラキラ ピカピカ

シヨッキジヨッキ乾杯 今夜はパーティー
打ち鳴らせ カチンカチン

クロスクロスタイムロンガ - 終わらない

トラベラー 酒を携え

行こう行こう 始まるよ 乗り遅れるな
ハッピーバースデイズ 百億の瞳さ

輝く宝石達だよ 宝物なんだ

百億の瞳さ（A A）（後書き）

自分でも何故こんな作品を書いてしまったのかわからない。着想当時入院してたからかな？

黒い闇のPhoenix（BB）（前書き）

Phoenix フェニックスの英語表記 詩作に優れ話す言葉
は自然と詩になるという・・・これから詩を書いていきたいの
であやかりたいな。

黒い闇のPhoenix(BB)

僕が死んでもそんなに悲しむ事はないんだよ
だって君は連れてかないから

筋違いの事言ってる 君はそう言った
貴方一人だと勘違いしてない？泣いてそう言った

大丈夫 僕が死んでもそんなに悲しむ事はないんだよ
それなら私も死ぬなんて言わないで だって君は連れて行けないから

個体とは正に真理 人は孤独 そう思っていた傲慢さ
君の涙をコップに注いで飲み干せば僕は永遠に生きるPhoenix

二人で大空を飛び交えばParadise
でもイケナイよ 危ないんだ あの世は

僕は見てきた 何度も何度も 生まれ变って
悪魔がいるんだ 囁く 来世 二人引き離そうと
不幸な人生にしよう

だから僕は一人 これからも何からも
君と愛し合った記憶 百年 胸の中に

S u c c i d e v i c e 前世の記録 閻魔帳に付けられている
のさ

君を不幸にしたいから バイバイ

何度も何度も血の池地獄 赤く その度 地獄から蘇る

黒い闇のPhoenix

君に出会ってしまったことは大きな罪　でも幸せだったよ
けれども現在の原罪　償えないや

だから僕は一人　これから何からも
君と愛し合った記憶　百年　胸の中に

S u c i d e v i c e 前世の記録　閻魔帳に付けられている
のさ

君を不幸にしたくないから　バイバイ

何度も何度も阿鼻叫喚の針の山　足から血も流れない　黒くくすん
だ顔

亡者達と宴会　魑魅魍魎が跋扈するシャカイ

君に出会ってしまったことは大きな罪　でも幸せだったよ
けれども現在の原罪　償えないや

二人で大空を飛び交えばParadise
そんな夢を見ながら　黒い闇の火の鳥　Phoenix　遠くまで
久遠の時を越えて跳ぶ

僕は現世でも罪深き　別ればかりの疫病神　君を不幸にしてしまう
から

敢えて言うよ　Good by　Good by　この世からも

火の粉が舞い落ちて悲しみの雨が降る　燃える地上に墜落した黒い
闇のPhoenix

また蘇る　罪を犯すと知っても　無限カノン　許されない僕の問題
の死　肉体の死

君が涙を流すなら僕の罪も洗い流して・・・
欲しい安らぎ フラッシュバック これは夢か真か

いつか見る気もしないような燃え盛る黒い灰の様な花に生まれ変り
たい

ならば罪も贖えように 本当はHeaven's doorの向こ
う側 君と愛し合いたい

言葉さえも忘れた黒い闇のPhoenix

黒い闇のPhoenix(BB)(後書き)

「Suicide Vice」 自殺の悪徳とか不埒な行動の意

P e a c e a t a n y p r i c e (A A) (前書き)

うーん腹黒だから考えてる事と書く事は違うんだけど、ハチャメチャ応援ソングみたいな感じかな・・・。自分ではなかなか面白く仕上がつて良かったと自己満足しています。

P e a c e a t a n y p r i c e (A A)

みんな仲良くしようぜ

抱きしめ合おうぜ

人はいつか必ず死ぬが人が死ぬ世界なんて嫌さ
我儘かな？

地球の裏側では今頃掘削ドリルで

僕等と繋がるうとしてるんだ

マントル？知るもんか

地球爆発のシナリオ ダメじゃない

みんな愛し合おうぜ

好きな人には大きな声でノシつけて大好きって言おうぜ
届かなかったらもっと大きな声で

HEY！HEY！

あの娘もこの娘もよりどりみどり

商品か！馬鹿じゃない？馬鹿じゃない？

男ってどうしようもない

だって歴史なんだもん 繋いできたんだもん

遺影なんてイエー！

はあ ため息が出ちゃう

坊主が上手に恐怖に舌巻いた

念仏なんて大嫌い でもでもM O N E Yは大事よねい

みんな仲良くしようぜ

抱きしめ合おうぜ

人はいつか必ず死ぬが人が死ぬ世界なんて嫌さ
我儘かな？

地球の裏側では今頃掘削ドリルで

僕等と繋がろうとしてるんだ

マントル？知るもんか

地球爆発のシナリオ ダメじゃない

みんな愛し合おうぜ

好きな人には大きな声でノシつけて大好きって言おうぜ
届かなかつたらもっと大きな声で

HEY！HEY！

さあジャンプ 稲葉の物置 百人乗っても大丈夫
球場に向かおう

地震がなんじやい

神様そう怒るなよ

僕たち清く正しく生きてます
頑張っているんです

東北まだまだ寒いかな

思いを馳せる 太陽は一つさ

奪いつこしちやダメダメ

こちら北海道 でっかいどう

わかるよ君の気持ち

違うつて下心なんてないさ 淡い恋心

そんなところから始まる パワー倍マンのストーリー

踊ろつよ SHINING 包まれて
お父さん お母さん 大事にしようぜ

僕らの命は薄氷の白鳥でも
いつか夏が来て全てを溶かす

一つになるんだ 世界平和
原発無くして あつとほーむ

温かい戦い それが人生さ
冷酷な人もいるけど
それはまあ置いといて

横に横に力二歩き 縦歩きもいるけど チン種
運動会なんか思い出してさ
あれはムカデ競争 楽しかったな

そんな風になんでも楽に気楽にゆるゆるヌルヌル頑張ろうぜ
そんなのが成功の秘訣
エロエロそれもいいんじゃない？馬鹿なんだからさ みんな みんな

雨にも降られ風にも吹かれ人にへこへこしへらへら笑う
そという者に私はなりたい 素直に負けを認める意外なパワフルマ
ン

Peace at any price 絶対平和主義 俺も君
も さあ行こう

P e a c e a t a n y p r i c e (A A) (後書き)

タイトル|| 絶対平和主義の意

S i l e n t f o r e s t (B B) (前 書 き)

この詩は自殺を賛美するとか、貶めるとか、死を冒瀆するとか、細かい意味は無い。

僕に言わせればこんなの狂気でも何でも無い。

例えば神戸連続児童殺傷事件の宅間守とかでも良いし、

犯罪者への警告、抑止力の発動かもしれない。

ようするに自分で言うのも何だが読まない方が幸せだと思う。

S i l e n t f o r e s t (B B)

静かな森の木々に

青ざめた劣化金属がぶら下がっている

首吊り死体さ

たくさん たくさん たくさん

ロープ ネクタイ 電気コード

その光景はある意味滑稽で笑うしかない

自ら死を選ばざるをえない人の神経衰弱

その悟りの前に愕然とするとともに

笑う者は壮絶な夢幻の光景に狂っているのさ

一万人 二万人 三万人

t o r i i n f u l e n z a 蔓延事件

静かな森の木々に

人形がもたれかかっている

服毒死体さ

たくさん たくさん たくさん

青酸カリ テトロドトキシン ヒ素

手に入れた者は選ばれし者 笑顔で飲み干し食し

死へのパスポートを手に入れた優越に浸り

それを傍観者達はただ P r o c e s s を笑う

何故ならばその光景はある意味喪服を着崩した女のようにで笑うしかない

自ら死を選ばざるをえない人の神経衰弱

その諦観の前に愕然とするとともに
笑う者は壮絶な夢幻の光景に狂っているのさ

一万人 二万人 三万人

wakayamaカレー事件

静かな森の木々に

ムンクの叫びが転がっている

窒息死体さ

たくさん たくさん たくさん

一酸化炭素 硫化水素 サリン

吸い込む者は恍惚の堕天使

目は潰れ 肺は腐り 脳が停止する

笑う事は出来ない数分間

何故ならばその光景は例えればバスタブの栓

溜まっていく水は冷めて冬に凍りつく

舞い散る雪の前にフラッシュバックする中絶された映像に

苦しむ者は百計の刑に処されていると感じる

罪も無いのに

一万人 二万人 三万人

tikatetuサリン事件

They kept silent the whole time

me

They kept silent the whole time

me

死人に口無し 洋梨がただ転がっている
最期に食べたのだろう

They kept silent the whole time
They kept silent the whole time

Silent forest 死体がしたいようにした
残酷な誘惑の結末がただ広がっていた

笑えない日常に紛れ込んだアクシデントは
忘れ去られそうでも遠い記憶の中では殺人や自殺の影の切れ端
辞書をめくるように調べられているから真相は遅くとも明らかにする

しかし悲しく儚い人生の苦難に響き渡るSOSは静かな森の中で反響して
やがて消える 絶望の向こう側で風鈴がチリンと鳴る

S i l e n t f o r e s t (B B) (後書き)

僕自身がこの詩あまり好きじゃないように愉快犯の書き逃げみたいなもので読んで不快になられた方には大変申し訳ありませんと言いたくない。(B B) マーク付いてたらそういうのを読んでもいいんだ、という人にしかお薦めしませんね。

T h e y k e p t s i l e n t t h e w h o l e t i
m e 〃 彼らは全体の時間を静かに保ちました。

シューティング スター（A A）（前書き）

歌っぱいから再掲するわけなのけども、セコイよね。
でもこの詩僕大好きなんだよ。

シューティング スター（A A）

今夜も眠れない

夜空を見上げて君を想う時

心はケータイのバイブみたいに震える

きっと君は泣いてる

孤独な天使

僕が君を想う時

君は他の誰かを思ってる きっと

怖かったんだ 君に触れるたび

消えてしまいそうで

心の奥底に流れる

強い意志を感じたから

君の声を聞きたくて

それだけで

君の笑顔を見たくて

それだけで僕は勇敢なサジタリウス

shooting star

弓矢でハートを

打ち抜ければ良いのに

揺れるターゲット

shooting star...
shooting star...

あの夜も眠れなかった

二人で手を繋いで

天井を見上げた時

心は生まれたての仔馬の様に震えた

きつと君は泣いてた

孤独な天使

僕が君を想う時

君は他の誰かを思ってた きつと

怖かったんだ君に触れるたび

燃えてしまいそうで

体の奥底に流れる

熱い血潮を感じたから

君の声を聞きたくて

それだけで

君の寝顔を見ていたくて

それだけで僕は最強のスナイパー

s h o o t i n g s t a r

弾丸でハートを

打ち抜ければ良かったのに

賭けたルーレット

s h o o t i n g s t a r . . .

s h o o t i n g s t a r . . .

「きつと、ずっと」夢ばかり見ていた
君の幻を追いかけていた

でも出会った頃の気持ちを忘れたくないから
今夜僕は君のスター そう決めた

ガソリン満タンのタンク
車で君を連れ出す
頭にはペガサスを描いて

ビンタを張られて
魂胆が破綻しても
あきらめたくない

高速をぶっ飛ばして
光速を越えて
宇宙へと飛び出す
space ship

今夜は冬のオリオン
打ち落とす
流れ星 最後の弾丸に願いを込めて
僕は最強のスナイパー

shooting star...
shooting star...

L o n e l y n i g h t (B B) (前 書 き)

キス〓恋人という概念は古くなってきたと思う。
何でそう思うかというとマンガの読みすぎ(笑)。

L o n e l y n i g h t (B B)

O H ! L o n e l y n i g h t
もくもく湧き上がる 狂想曲

あの娘どうしてっかな
一度キスを交わしただけだつてのに
まるで自分のモノみたい

電話しょつか しまいか
関係が终いか どうでもいいか
携帯が無かつたら彼女の家まで行くのに
家の前まで行くのに 安心するのに

闇夜は病よ 臆病者の城
きつたない自分の部屋
貴族は窓から小便したつていうから
真似してみよつか いやさ 快感に大胆じゃない

あの娘を抱いたんじゃないぜ
頭の中だけさ 許してくれよ
妄想は誰にも裁け^{ゆめ}ない

O H ! L o n e l y n i g h t
しくしく 今夜だけは涙 タバコの煙が染みただけさ

あの娘 彼氏いるのかな
今頃ころころ心弄ばれているのかな
もう自分が許せない 女々しさ 灰になれ

全て忘れたら 僕は名前さえ忘れたら
君は僕の名を呼ぶの？

真理になんて興味はないぜ 経典は狂典
あゝそんな事件があつたな

くそつたれ 犯罪者になりそうだ
あの娘が僕のモノになったら もしなったら
僕はもう何も出来そうもない

そのくらい好きだから
心の奥底で君の名をホントは叫んでいるのに・・・
嘘つき 眠ろう 海に沈もう 風の音が聞こえるLonely
night

しくしく 今夜だけは涙 タバコの煙が染みただけ・・・

くそつたれ 今宵の酒はやけに不味いな 酔いが回らん
独り身の悲しさよ 月を崇めて休め
いつでも始まりは朝 いつでも始まりは朝
地球は回るのさ

D o n ' t s t o p l o v e ! (A A) (前 書 き)

恋の超特急！

Don't stop love! (AA)

待ち続けているの

もう一時間も

デートの約束すっぱかすつもり？

私怒るわよ

でもベッドの中では従順なペット

貴方の好きにして

途中で止めちゃ嫌よ

長い長いキッス

年下の貴方に翻弄されて

私一人よがりのDOLL

でも悔るなよ

おなごは怖いぞ

浮気なんてしたら絶対絶対許さないから

ぎゅっと抱きしめてくれないとアドバールンみたいにふわふわ

紐が切れて飛んで行っちゃう

だから側にいて 手を繋いでイチャイチャしようよ

Don't stop love!

貴方が大好きだよ

止まらないのこの気持ち

ブレーキが効かない

ベジタリアンの貴方に影響されて

私肉が食べられなくなった

でも憎憎しい程貴方の思想はわからないわ
そこが良い所かな？

浮気なんてしたら絶対絶対許さないから
ぎゅっと抱きしめてくれないと綿菓子みたいに製造機に
グルグル回されて丸くなっちゃう
だから側にいて ギラギラ尖った目で下着見てよ

Don't stop love!
Don't stop love!

街に出かけて腕を組んで
恋人達の優しい優しいSerenade 感じあおうよ

シンデレラは幸せになった
私も貴方に会う前までは灰被り姫
でも今はハイなフリで秘め事
貴方の耳に囁くよ

だから早くイヤフォン外して
私怒るわよ
侮るなよ
おなごは怖いぞ

ハートを掴まえて ピストルで打ち抜いて
貴方色に染まらせて
赤い薔薇のように棘があるけど
痛みを共に分かち合ってくれない？

仕事が忙しいのは分かるけど
もっと会いたい 聞きたい 抱かれない

Don't stop love!

貴方が大好きだよ

止まらないのこの気持ち

ポップコーンみたいにパチパチ弾け飛びそう

私だけ見つめて 浮気なんてしたら絶対許さないから

貴方だけの私だよ もっと求めて 答えるから

花弁の香りに誘われて

囚われたミツバチ My Honey とつてもSweet

r i s t c u t (B B) (前 書 き)

うーん。小学生の時はいじめっ子だったし、中学生の時はテストで学年トップだった事もあった。高校生の時は友達に腐るほどいたし全く苛められた経験はないのだが。

やっぱり病気になってからかな。死ぬ気はないからリスクしてもそんなに痛くも無い。でも明日のエッセイも自殺未遂の話。

厄年なんだわ。それが前世のカルマ。

r i s t c u t (B B)

僕の左手首には包丁やナイフが撫でさすった躊躇い傷がいっぱい
半袖が着れない

流れ出した血液を風呂に浸らせてもっともつと
生命の証明をと望む

理由の解明は困難を極める
気持ち良いから？血が見たいから？痛みを感じたいから？

僕が一つ言える事は自傷行為とは嫌いな自分を攻撃して
自らを名無しと称する時期が来ている予感を消し去る為
刃物の先端から赤い雫が滴り落ちる
快感と痛切が混在する脳みそはDSでDM

静脈血は少し青ざめていてジワジワと流れ出す
ガーゼに浸したオキシドールをあてがって
救命措置を図る ピリピリと染みる感覚が存在の証明

何度も繰り返す 既に癖になっている

嫌な事があるとすぐ逃げ出して数十分後戻ってくる
意気地なしのカギっ子

小学生の時トイレで和式トイレで排泄したら背中に汚物と張り紙さ
れたり
長い髪を気障野郎と引っ張られたり

中学生の時 教科書をどこかに隠されたり
靴の中に画鋏を入れられたり

高校生の時 お前ブサイクだもんなと痛い所をつかれたり
バレンタインデーのチョコレートにかびパンが入っていたり

そんなイジメの記憶に傷ついた歴史が
僕の左手首のせめてもの反抗の印

消えたい 消えたいと思うほど
心臓はドクドクと脈打って全身に血液を送り出している
憎らしいけど生きている事に身分証明書なんて必要とされてない

僕が一つ言える事は自傷行為とは嫌いな自分を攻撃して
自らを名無しと称する時期が来ている予感を消し去る為
刃物の先端から赤い雫が滴り落ちる
快感と痛切が混在する脳みそはDSでDM

Never Surrender (AA)

優しさを溢れ出させよう
無気力な仮面を捨てよう
君の力を信じて
そんなものじゃないはずさ

下駄箱にLOVEを込めたLETTER
破られたー
でも凹まないで
ほらエールが聞こえる

そこに居ちゃいけない
走り続けよう
屋上のカギを盗んで
給水塔の上からバカヤローと叫ぼう

太陽が迫ってくる
僕らの元に降りてくる
暑い熱を感じよう
海はオアシス　しょっぱいオアシス

一つや二つや百の恋が終わっても
次があるさって石ころ蹴飛ばして
ちよつとスネた笑顔作れば
失恋なんて忘れるよ

苦しい恋をしたんだね
滋養になるよ

卵かけ御飯ににんにくの欠片乗せて
食するみたいに

しつこく言い寄れ

ストーカー呼ばわりされて

また凹んで

それを反発力にして屹立させる

男だろ

涙なんていらぬ

ギラギラ尖れよ

それがサイコーにカッコ良い

ロクソウル忘れるな

揺さぶるんだ

ハンモック片手に

南国の海へ旅立ち エメラルド強奪

Never Surrender

全部忘れるよ！

人生は敗れ去る事も多い旅さ

悲しい事はゴミステーションにポイ

ホイホイ追いかけろ

カワイイお尻

そのため生きてる

悲しい事はゴミステーションにポイ

Never Surrender

ホントに悲しかったら泣いてもいいさ

男だから誰にも見せないように
辛さいっぱい知ってる方が人に優しくなれる それは真実

N e v e r S u r r e n d e r 失恋だー

N e v e r S u r r e n d e r 失恋だー

笑うしか道はないよね？

進歩 進歩 きっと毎日 E v o l u t i o n

優しさを溢れ出させよう

無気力な仮面を捨てよう

君の力を信じて

そんなものじゃないはずさ

いつか いつの日にか

ダイヤの原石は磨かれて

光り輝く

君自身で光れ 走ろう R u n R u n

太陽が迫ってくる

僕らの元に降りてくる

暑い熱を感じよう

汗はオアシス しょっぱいオアシス

負けないように消えないように

花の様に水をいっぱい溜め込め

全て包み込む森林の木漏れ日

マイナスイオン浴びて

君自身で熱く光れ

いっぱいいっぱい溢れ出すまで

走ろう Run Run
P・S・夏が来る 君は一人じゃない

N e v e r S u r r e n d e r (A A) (後 書 き)

N e v e r S u r r e n d e r 〓 決 して 降 伏 し ない 。

S a d B e l l (B B) (前 書 き)

うーん。ちょっと短いかなー。私生活でも挨拶は比較的重要視はしてるんだよね。だから詩を書いてもありがとつかさよつならとか頻繁に出てくるんだと思うんだけど。

常にベストを尽くしてるんですけどねー。つまんなかったらすいません。

S a d B e l l (B B)

悲しげなメロディー 鐘の音 時に色々
夕暮れに街が沈んでいく
今日1日 ありがとう
そして さようなら

悲しげなメロディー 鐘の音 やけに広々
宵闇に兎が跳ねる
バブルバスで鼻歌
何か切ない

ああ僕らは何故が無性に寂しくなったり
自棄になったり 心の振り子が揺れる
それは生きている証拠

S a d B e l l
何処かの学校の終礼
キラキラした瞳の B o y s & G i r l s
青春がまた過ぎ去っていった

S a d B e l l
教会のゴスペラーズ
カリカリと日記を付ける
繰り返す また過ぎ去っていった ページ

幼子はいつか美しく逞しく成長し
結婚し子供を作る 人が溢れていく
零れ落ちていく 記憶

ああ僕らは時に無謀に勇敢だったり
多弁になったり 右脳と左脳が振れる
それはイキイキしている証拠

Sad Bell Sad Bell

それでも時に悲惨な事件が起きたりして
僕らの心 惑わせる 痛めつける

鎮魂歌 キンコンカン

目覚ましが鳴って憂鬱

眠り姫が現実に戻還

靴べら探して出発

僕も交差点の近く喫茶店でコーヒーを飲んだりして
大人ぶっていた時期もあった
追記 当時はカッコ良かった

1日1日老いていく 自覚も無く
でも学生は覚醒 何者になるべきかを知る

Sad Bell Sad Bell いつか消えると知

つても

歩まずにはいられない 始礼の鐘になる

今日という日が悲しみに包まれませんように

祈る Player せめて上辺だけ楽しげなPlayer

悲しげなメロデー 鐘の音 綺麗に黄色

夕暮れに街が沈んでいく

今日1日 ありがとう

そして さようなら さようなら

もう粗探しは止めて光の道を進め

悲しみの鐘が鳴り響いても S a d

B e l l

Shining girl (AA) (前書き)

初期の作品。全体的に明るくも物悲しい複雑な心理を描写して
自分でも好んでいる。

Shining girl (AA)

頬にチーク 童女のように

まつ毛にマスカラ 気持ちみたくアゲアゲ

リップにルージュ sweet entrance
アイシャドウ 目力アップ 男にシャラップ

カールされた髪 クロワツサンのように
ネイルを写メール ブログにアゲアゲ

リストアップしたアイテム アラカルト
アイズシャイン 愛の弾丸ライナー

待ち合わせに遅れて「ゴメンネ」

キラースマイル

歩く姿は誰もが振り向く

スーパースタイル

君は 街を歩けばスカウト

君は 多少短めのスカート

君は のぞくおみ足はスマート

君は ピストルが鳴り響いてスタート

Love emotion 愛の構想は

Love illusion ハイな妄想に変わって

shin shin shining girl

眩しすぎて

shin shin shining girl
直視できない

光り輝く君は
My jewel なのに

ふと振り向いた君 crying
一体どうしたの? t y m i n g
告白しようか? l o v i n g
でも口元は真一文字に c l o s i n g

sign sign 君からの
sign sign 僕に向けての

最後のsign

お別れのkiss

Love emotion 愛の構想は
Love illusion 灰の香草だ

shin shin shining girl
せつなすぎて

shin shin shining girl
涙こぼれる

光り輝く君は
My jewel なのに

君は 街を歩けばスカウト
君は 多少短めのスカート
君は のぞくおみ足はスマート

君は ピストルが鳴り響いてスタート

どこか遠くへ行くんだね

さようなら ありがとう

僕もこれから e n d a n d s t a r t

B L A C K D R U G × B L O O D D R U G (B B) (前 書 き)

初めて推敲した。今まで一回も推敲してないというのは自信過剰なのか、馬鹿なのか、良い作品を提供する意思がないのか・・・

BLACK DRUG×BLOOD DRUG(BB)

その薬を処方された者は
死が近いという

医師も投げ出す不治の病に
最後の希望として投与される黒い薬

フィルムに包まれたその薬は
毒々しい程真っ黒で
飲むのを躊躇う程

人間の根源的な恐怖を呼び覚ます

いざなわれた病院は
廃屋に近く そのたたずまいは
根腐れの植物が放つ死臭にどこか似ている
ベッドに横たわって天井を見つめれば儚し

一生を終えるときある人は光を見るとき
自分が自分から離れる瞬間を見るとき
心臓が止まる一瞬前に脳が見せる幻覚
その時に痛みを抑えるという黒い薬

覚せい剤と対を為す様に真っ黒なその薬は
沈黙と安らぎと静かな眠りを約束すると言う
森の奥深く苦しみから一瞬解放されて束の間
彷徨うようにうなされて少し独語をつぶやくと言う

看護婦はその沈黙の中から漏れ出た微かな声に耳を傾け
一応効いている様だと安心する 幻惑の向こうの妖しい闇夜の中で

患者は死人のように眠る　ただそれだけが救いなのだ

その薬を処方された者は

死が近いという

医師も投げ出す不治の病に

最後の希望として投与される黒い薬

フィルムに包まれたその薬は

毒々しい程真つ黒で

飲むのを躊躇う程

人間の根源的な恐怖を呼び覚ます

その患者は急に笑い出す　朝焼けの下に

いよいよ来たかと医療スタッフが集まる

実験的に投与された薬の副作用でその人は笑いが止まらない

他の人々はバツの悪い顔をしている

突然その患者の全身から洪水のように血が溢れ

舞蹈病のように病棟の廊下をよれよれ歩き出し

そして倒れた

静寂があたりを包む

この病院の最後の患者が死んだ

偽物の天国の為に却って悲惨な結末を引き起こす

悪魔の薬と呼ばれる所以　その本当の名はBLOOD DRUG

黒のアントは赤だと決め付けたマッドサイエンティストの残酷な戯れ

BLOOD DRUG

BLOOD DRUG

血の雨が降って赤く染まった白い病棟は

次の日あらゆる場所が消毒され今はもう誰もいない

S	S
p	p
i	i
t	t
B	B
l	l
o	o
o	o
d	d
C	C
o	o
u	u
g	g
n	n
u	u
p	p
B	B
l	l
o	o
o	o
d	d

B L A C K D R U G × B L O O D D R U G (B B) (後 書 き)

S p i t B l o o d = 口から血を吐く

C o u g h u p B l o o d = 肺等から喀血する

HOPE (AA) (前書き)

僕自身大好きなポエムです！キラキラ煌いてって所良い。
そしてお気に入りユーザーが1人増えて4人になりました！
全作品の中で新記録です。ありがとうございます。

HOPE (A A)

気安く触れないで

私の心に 深い青の瞳の君に

まだ侵入されたくない

あの星が落ちるまで

その時君の願いは叶うわ

私を差し上げる それが望みでしょ

君が欲しい 君が欲しい

そればかり言っていたものね

私の願いが叶うならば

子供には希と名付けましょう

きつと光り輝く珠の子になるわ

キラキラ煌いて全てを魅了する太陽みたいな子に

未来への道程は緩やかな階段

登りつめるのは快感

山の頂に立って息を切らせて

叫ぶの HOPE!

私の願いが叶うならば

子供には希と名付けましょう

きつと光り輝く珠の子になるわ

キラキラ煌いて全てを魅了する太陽みたいな子に

未来への道程は緩やかな階段
登りつめるのは快感

山の頂に立って息を切らせて
叫ぶの HOPE!

過去の過ちは聖なる印綬
隕石が衝突するようなショック
君との結合 優しく髪を撫でてくれて
優しく貫いてくれて涙が出ちゃった

現在の地図は宝物の在り処を示して
私たちを導く

ささやかな幸福 光の窓辺

恒星の贈り物 夢の時計 刻み込む 日付

私の願いが叶うならば

子供には希と名付けましょう

きつと光り輝く珠の子になるわ

キラキラ煌いて全てを魅了する太陽みたいな子に

空気の質感に触れて心地良く口ずさむメロディーは
軽やかに駆け抜けて連れ出してくれる 自由の空へ

あの空の雲みたいに白く白く光れ希

私の大好きな言葉 今溢れ出すHOPE

空気の質感に触れて心地良く口ずさむメロディーは
軽やかに駆け抜けて連れ出してくれる 自由の空へ

あの空の雲みたいに白く白く光れ希

私の大好きな言葉 今溢れ出すH O P E

まだ見ぬ命 確かな鼓動を感じる瞬間

私たちは飛び出す どこまでも続くRoad

踏みしめて歩き出す 気持ち良い風が吹くあの場所へ向かって
私たちが希と名付けた生命の樹の下へ

我愛？(W a r I n e e d) (B B) (前書き)

雄猫はまだましななら。雌猫が痛いなら。

我愛？(War I need) (BB)

恋はバトル

果て無き戦いなのら

おいら探してるカワイイChina cat

つんつくてんの纏足

異国のブンカに触れたいのら

おいら猫なのら とつても痛いのら

何がつて交尾なのら

性はバトル

果ててまだ続く長い夜なのら

おいら探してるカワイイChina cat

つんつくてんの纏足

異国のブンカに触れたいのら

おいら猫なのら とつても痛いのら

何がつて交尾なのら

でも止められないのら

たまに気持ち良いのら

赤ちゃんたくさん生んでもらうのら

大事なのら なのに凄く痛いのら

きつと神様が試練を与えているのら

命を生み出すのは戦争なのら

我愛？(W a r I n e e d)

我愛？(W a r I n e e d)

社会は厳しく野良猫には冷たい風が吹き付けるのら
だけどおいら負けないのら

いつかC A T K I N Gと呼ばれるのら
勝利宣言するのら

ニヤ・ニヤ・叫ぶのら
あつとおまんまが呼んでる 一時休戦なのら

しかしおまんらには負けないのら
恋はバトル

果て無き戦いののら

おいらやつと見つけたのら カワイイC h i n a c a t
つんつくてんの纏足

異国のブンカに触れたのら
そしてお嫁さんにしたのら

新しい始まりなのら 生命の神秘なのら
生はバトル

果て無き戦いののら

野良猫は一人ごちる
はうあ何で痛かったり気持ち良かったりするんだらう
それは戦いだからだと思ふのら

ゆーせーしそう

子孫を残すのも大変なのら

歴史に名を刻むのは大事なのら

いつかCAT KINGと呼ばれるのら
勝利宣言するのら

我愛？(W a r I n e e d)

我愛？(W a r I n e e d)

猫だつて恋するのら 愛するのら

だつて戦いなものら

血が騒いでしょうがないのら

今夜もバトル バトル 戦争なのら

神様HELP！（AA）（前書き）

焼き直しです。どうもすみません。

神様HELP！（AA）

二の句を継げない
君の言う事は正しい
別れの瞬間はいつも
背中にべっとり脂汗

喫茶店の片隅

ウェイトレスの冷ややかな視線
それは気のせい

でも君の瞳とレイコーの冷たさは本物

君は静かに口を開く

あーあ わかっているよ

飛び出す言葉は

きつと被告への判決みたいに残酷

いつからだろう 見えなくなった国境
目を泳がせて 二人の女性を比べて
abnormalなsymbol
ありがちなnonmoral

頭の中をぐるぐる回る

メリーゴーランド さあご覧

僕の顛末 神の天罰

さあ答えを聞きたい

君の問いかけ
急でびっくり

私を選ぶの それとも
彼女を選ぶの？

My answer

誰も知らないさ

二兎を追う物は一兎をも得ず
とりあえず 君に告げず

いつからだろう 聞こえなくなった残響

愛し合った記憶 二人の個性を比べて

sexyなvoice

中立のstance

全てを見透かしたように

本当にすかした態度で

君は笑った

「そうよね ゴメンネ」

去って行く君

アイスコーヒー二杯で八百円

ふところは痛くないさ

ただ君の笑顔が痛い

Liar 僕はLiar

Liar 最低のLiar

愛なんて知らないや

ただ馬鹿みたいにHigher

Liar 僕はLiar

Liar 優柔不断なLiar

地球が回っても知らないや

ただデキないビジネスマンみたくFire

本当に君だけを愛してる

言えたら何か変わったのかな

自分の気持ちにさえ自信がもてない

僕はLiar 僕だけのフレイヤ？

神様 Help!

P r e s s (B B) (前 書 き)

かなり悲痛な詩だねー。
病的な所をお楽しみ下さい。

P r e s s (B B)

嘆きの壁に挟まれ絶望の天井に押し潰され
内臓破裂 全身骨折 それ程の痛み

悲しい事はどうして降り止まないのかな？
まるで僕を狙いました様にT r a pが襲ってくるんだ

夢はいつも悪夢で目覚めた時は恐怖で顔面神経痛のように
顔が歪み鏡を見る事さえ躊躇われる

剛速球のストレートが顔面に当たって悶絶するバッターみたいに
僕はアクシデントと無縁ではられない

投げるピッチャーは涼しい顔で当然だと言わんばかりの表情
冷酷な勝負の世界の前で押し潰されそうだ

嘆きの壁に挟まれ絶望の天井に押し潰され
内臓破裂 全身骨折 それ程の痛み

悲しい事はどうして降り止まないのかな？
まるで僕を狙いました様にT r a pが襲ってくるんだ

夢はいつも悪夢で目覚めた時は全身汗びっしょりで
疲れて

身を清める事さえ躊躇われる

無気力な僕の易疲労感
容易く語らないで欲しい

僕の氣に入らない物は全て消えて欲しい NO NEED

病魔や老化や死というデーモンが僕を苦しめる
逃れられない Pain

これは罪なのか 罰なのか

この世に生を受けた事がそれ程重大な事件なのか
僕は考える いつかこの苦しみから解放される日が来る
長い懲役を終えて刑務所から出る日をただ待ち望む
長い兵役を終えて軍隊から脱退する日をただ待ち望む

嘆きの壁に挟まれ絶望の天井に押し潰され
内臓破裂 全身骨折 それ程の痛み

悲しい事はどうして降り止まないのかな？
まるで僕を狙いました様に Trap が襲ってくるんだ

最近はまだ諦めかけている 死刑囚みたいに
僕はきつと夢の中で大量殺人を犯したんだ

死んだような顔で死に至る病を読みキルケゴールは笑えるな
醜男でとすっかり世の中を馬鹿にして反省の色もない

外は豪雨と暴風で時折チャイムの幻聴が聞こえる

まず鏡を貸してくれ 俺は今どんな顔をしている？

P r e s s (B B) (後 書 き)

無気力な僕の易疲労感

容易く語らないで欲しい

僕の気に入らない物は全て消えて欲しい N O N E E D

ここ黒夢と2000年頃活動してたゼリ↓ってバンドのパクリなんだよね。ホントは誰でもいいから側に居て欲しいのです。

Sunday people (AA) (前書き)

ハンカチ王子ローション怪我で狂わせて日曜日の登板じゃなくなっちゃったんだよね。まあ良いけど。ちなみに俺は花とかを見る趣味は無い。

Sunday people (AA)

大通り公園でとうもろこしを頬張る子供達
父親が落とすなよと言う

店のおばちゃんはピカピカの笑顔で
売れてますかと聞くと絶好調よと答える

噴水では小さな浮き輪を持って遊ぶ子供達
母親は愛おしそうに優しいまなざしをむける

そんなある夏の日曜日

ハンカチ王子が投げるから札幌ドームに向かうファン達
みんなワクワクして開場を待っている
父親がはぐれるなよと言う

ビールの売り子のお姉ちゃんに売れてますかと聞くと
忙しくて死にそうですと答える
母親は応援ボードを高く高く掲げて大興奮

帰りのJRは混雑している 休日なのに制服を着た女子校生が
化粧直しをしている 突然コンパクトをパタンと閉じたかと思うと
おばあちゃんに席を譲った

Sunday people みんな幸せ
Sunday people 手と手を合わせてハイタッチ

幸せをわけてくれる 元気をわけてくれる 赤の他人にThanks

溢れ出る笑顔がひまわりの様に咲いている 熱風に吹かれながら
今夜は焼肉ですよと家に帰るとお祖母ちゃんが言うから
双子の子供は同時にわーいとはしゃいだ

Sunday people みんな幸せ
Sunday people 手と手を合わせてハイタッチ

そんなある夏の日曜日

溢れ出る笑顔がひまわりの様に咲いている 熱風に吹かれながら
そんなある夏の思い出 ベンチに腰掛けながら花壇の花を見ている
そんな若き日の思い出

Sunday people (AA) (後書き)

18〜20歳くらいの時かな。札幌に居たの。予備校とか1日行つて止めた。馬鹿か。

繰上げ抱擁（BB）（前書き）

もし死ぬなら2人で・・・とかいうさびしんぼでもないしロマンティックでもないし。じゃあ何でこんなの書くの？と聞かれると「わかんないんですよー」としか言えない・・・。

繰上げ抱擁（BB）

少し早いけどもう眠ろうか

明日の準備は整ったし

君と手を繋いでまどろむ

死んだ母親の夢を見た

僕の手を引いて配給のお米を片手で担ぐ貴方

父親は朝から酒を飲んでいて昨日はTVを壊し

今日は茶の間の出窓を割った

そんな夢のような 過去で現在で未来は明日か

飛鳥 僕もまた酒飲みでそう仇名されていた

一週間前も六日前も五日前も四日前も三日前も一昨日も昨日も

ずっとずっと飲んでいたんだ 何だかわからないけどやりきれなくて

色々考えてみたけど妻には内緒にしておきたいし愛してるとは言っ

ておいたから

不思議な顔して貴方どうしたのって彼女は聞いたけど本当は気付いてる

君の存在がパッションなんだ 売れない作家のちんけなプライドに

付き合ってくれて

ありがとう

僕は一度寝た女と出会うと一度きりの関係だと割り切れない

泥酔してまた再交という事になる その時思い出すんだ

念仏の夫婦の間でも邪淫するなという言葉を

けれど生まれたときから刻印された快樂児の呪いは消せなくて

だから一緒に眠った事はあるけど抱いた事はない君を選んだんだ
少し寒いな 明日は雪の予報だから

ぐっすり眠れたよ さっぱりしたものさ さあ出かけよう

でも意気地がなくてやっぱり朝から酒を飲んでしまったね
これも仏典には反するみたいだけど不安だし青ざめた顔でいたら不
審がられるから

いつの間にか夜になってしまったね 月明かりが本当に綺麗だ今夜は
涙が出ちゃうほど

最後になるけど温もりに触れさせて 繰上げ抱擁

じゃあロープを貸してくれるかな きつくきつくだよ
まずは足から そして二人背中を向け合って手首を縛った

寂しいね 明日朝日は昇るかしら きつと昇るよ その前に行こう

二人は川に飛び込んで翌日死体で発見された

P o w e r f u l l e m o t i o n (A A) (前 書 き)

これ英語おかしいんだよ。力が満たされた感情って言いたいんだけど、調べるのめんどくさいの。

P o w e r f u l l e m o t i o n (A A)

まだ病みあがりだから無理はしたくないけど

急がなきゃ 歳も歳だし 徹夜で頑張るよ

全力全開開放 溢れ出す感情を みなぎる恋心を

P o w e r f u l l e m o t i o n

君と初めて出会った時 頬が赤く染まったよ c h e r r y

階段を駆け上がる美しいカモシカのようなフォルム

残り香のかぐわしさ 悩ましいほど愛しいとF e e l

夢中で追いかけた光を君の手鏡に反射させて

僕の心を照らす ミチシルベ 未知を知る

恥ずかしいクライ感覚が磨き上げられる

僕の知った未知とは溢れ出す感情やみなぎる恋心

僕の心をノックする未曾有の訪問者

驚きを隠せない 動揺を隠せない 君の影を見つめていた

まだ病みあがりだから無理はしたくないけど

急がなきゃ 歳も歳だし 徹夜で頑張るよ

全力全開開放 溢れ出す感情を みなぎる恋心を

P o w e r f u l l e m o t i o n

君と二度目に会った時

初めてはじける笑顔を見た

その時憎らしいクライ

手が震え足がすくんだんだ

まるでミューズに突然出会ったような衝撃

脳が痺れた

美しいマーメイド プールサイドで水を滴らせてたたずむ君は
流線型のフォルム 君の肢体に頬が赤く染まったよ cherry

君の指輪に Promise と勝手に名付ければ一人よがりのマスタ
ーバージョン
心のイノベーション 苦しい切なさ

君と目が合った瞬間 戦慄が走る その時に sick sick 泣
いてしまったんだ
自分で訳もわからないクライ だから君に贈るものを手近な所で慌
てて探したんだ
例え僕の一人呟く言葉がポエムにならなくとも それしか出来ない
無力さ だから・・・

まだ病みあがりだから無理はしたくないけど
急がなきゃ 歳も歳だし 徹夜で頑張るよ
全力全開開放 溢れ出す感情を みなぎる恋心を
Power full emotion

君が好きだ

まだ病みあがりだから無理はしたくないけど
急がなきゃ 歳も歳だし 徹夜で頑張るよ
全力全開開放 溢れ出す感情を みなぎる恋心を
Power full emotion

ギリギリに擦り切れたハート
アヌビスに差し出す

S y n d r o m e (B B)

症候群 一括りにしないで
仲間なんて要らない ツバを吐き捨て
辛辣な捨て台詞を残して逃げ出した僕
そして一人ぼっちになった

昔には戻れない
友達と語り合った日々
抱き合って涙を流した日々
大人になる事が言葉のメスで
病変を切り取るオペならば
僕は大人になんてなりたくなかった

症候群 一括りにしないで
仲間なんて要らない ツバを吐き捨て
辛辣な捨て台詞を残して逃げ出した僕
そして一人ぼっちになった

昔には戻れない
教室の窓から見つけた飛行機雲
飛んでくるチョーク 勉強もしないで教科書を涎で汚した日々
部活で陽が落ちるまで泥んこまみれになった日々

僕の翼は折れて飛べなくなった
もがけばもがくほど蟻地獄にはまっていく僕は
本当に馬鹿だ

大切な宝物を売り飛ばして得た代替品は孤独という名のハズレ券

青い春を青春と呼ぶのなら

綺麗な紅葉が赤く黄色く染まる秋は何と呼べばよいのだろう

冬が来て虫が死滅して快適な布団に包まれても
満たされない 眠れない

濁った目の僕は真空管に囚われ息が出来ない
過去という輝きを再び手に入れられたなら
僕は他にもう何もいらぬ

みんな孤独という名の狼 群れなど作らない
それはきつとプライドを守る為
それが保身とは教えて貰えなかった

症候群 一括りにしないで
仲間なんて要らない ツバを吐き捨て
辛辣な捨て台詞を残して逃げ出した僕
そして一人ぼっちになった

大人になる事が言葉のメスで
病変を切り取るオペならば
僕は大人になんてなりたくなかった

みんな心の奥底でそっと抱いている Syndrome
地球が丸い理由が分かりそうでいて誰も気付かない

黄金の風（A A）

君がくれた力を何処にしまえば良いのだろう
J O K E Rに奪われる前に君がくれた宝物を・・・

黄金の価値は上下するけど

ぶれる事無く花も散らさない黄金の風
実力者達を一蹴する

精霊の力を借りて時に怒りの表情を見せる

S t o r mを巻き起こしてランキングに参戦

猛れ 僕が使役する刺激的な黄金の風

ツタンカーメンがビビる程の財宝を呼び込め

確かな輝き 閃きの囁き 雷鳴の様に光り輝いて

実力者達を一蹴する

精霊の力を借りて時に怒りの表情を見せる

S t o r mを巻き起こしてランキングに参戦

守るべき花以外全て吹き飛ばせ

金色に輝く雲にまたがり世界を共に駆け巡る黄金の風

君がくれた宝物は僕の力になった

J O K E Rを破壊する黄金の風

確かな輝き 閃きの囁き

守るべき花以外全て吹き飛ばせ

金色に輝く雲にまたがり世界を共に駆け巡る黄金の風

君がくれた宝物は僕の力になった

J O K E Rを破壊する黄金の風

僕と君の友達 一緒に帰ろう 夕陽の下に吹き荒ぶ風
黄色く赤く光る

僕と君の友達 一緒に帰ろう 夕陽の下に吹き荒ぶ風
黄色く赤く光る

田園で稲穂は首を垂れ豊かに実っている
秋の恵 今日は何か豪勢なものが食べたい

生きる悦び確かに感じる心豊かな秋の風
こんな時ふと浮かぶポエムは力溢れていて
太宰の黄金風景が読みたくなる そんな読書の秋
夜はゆっくり更けていく

一人（BB）（前書き）

何かどうかで聞いた様な節回しが多いような・・・
この詩の場合後半から盛り上がってくるよ。

一人（BB）

君を傷つけた

乱暴な言葉で

君は泣いていた

僕は素知らぬフリをした

静かにドアを閉めて

部屋を出た

赤い満月の日だった

ああこんな日はやるせない

無い無い心が無い

涙も出ない

君の傷ついた心に

つける薬なんて知らない 諦めていた

人間は結局一人だ

人一人救えない

医者じゃないから

神様じゃないから

今頃君は何をしているのか

そんな事どうでもいいさと

呟いてコンビニでホットコーヒーを買った

人の温もりなんて嘘だと思った

作られた商品の方がずっと温かった

僕を冷たいと罵る奴はきつと幸せなんだろう

僕を裏切り者と呼ぶ奴は友達がたくさんいるんだろう
もう誰とも会いたくないし話したくも無い

人間は結局一人だ

君が愛していると言った僕は虚勢と見栄の塊のロボット
本当の僕はめんどくさがりで花が枯れても悲しいとも思わないし
動物は飼わない いつか死ぬから 僕もいつか死ぬし

今頃君は何をしているのか

そんな事どうでもいいさと

呟いてコンビニで今度はワンカップを買った

人の温もりなんて嘘だと思った

五臓六腑に染み渡る酒は僕の心をほっとかなかった

数分の間に百円ちよっとの商品を立て続けに買った僕に

店員は冷たく袋要りますか？と聞いた

桜の木を蹴飛ばして「朽木の名の元に散れ千本桜」と一人言を言う
僕は

アニメのBLEACHに影響されている でも 髪は真っ黒だし母
は嫌いだ

彼女の名前だから

もう戻る気は無いよ

冷たいようだけどさようなら

僕はもう二度と恋なんてしない
こんなに辛いなら・・・

僕は妹とキスをする（A A）（前書き）

え、妹ですか？結婚してますけど・・・。何でこんなのを書くのか意味わかんない。

僕は妹とキスをする（A A）

いけない恋を止めないで

カットしないで ムービーディレクタ

きっかけは駅の改札口

財布から小銭をぶちまけてしまつて

ふと顔を見上げると妹の顔があつた

お兄ちゃん小銭落としたのゝと

無邪気そうに聞く妹

ああと無愛想に答える俺

何か恥ずかしかつた 仕事が忙しくて久しぶりに会つたから

夜道漬れたJapanというパチンコ屋の跡地に出来た公園

噴水の近くでMDウォークマンを僕は左耳に妹は右耳に

そして曲名と歌手の名前の当てあつこを始めた

妹はJ - P O P が大好きで俺は野球が大好きだつた

ちよつとかみ合わない二人

じゃあこの曲は？妹が聞く さっぱりわからない

ブリグリだよ 私大好きなんだ

じゃあこの曲は？妹が聞く さっぱりわからない

ドリカムだよ 私大好きなんだ

なんだか知らないが短くするのが流行りなのかな

中田翔はなかしょうなのかな？

それからも兄妹の会話は続いてとても懐かしく昔を思い出した夢のような時間だった

妹が突然言った　私が死んでも泣かないでねと

俺はそんな事想像もしていなかったけど

勇気を振り絞って言った　お前は死なない　俺が護るから

二人少し沈黙してその後同時に「キスしよう」と言った

小鳥の羽が舞い落ちるように軽くゆっくり唇を重ねて・・・

その時公園の時計が夜七時を告げる鐘を鳴らした

家まで手を繋いで帰った　妹の手の平は温かくて少し濡れていた
少し寒いねお兄ちゃんと言う妹に俺はポンと彼女の頭の上に手をおいて

彼氏を大事にな　そう言った　そんな秋のジェラシー

いけない恋を止めないで

カットしないで　ムービーディレクタ

いけない恋を止めないで

カットしないで　ムービーディレクタ

いけない恋を止めないで

カットしないで　ムービーディレクタ　A H　A H・・・

LOST ANGEL (BB) (前書き)

まあヤンデレというか精神を蝕まれちゃった人の書く詩ですね。

LOST ANGEL(BB)

天使が消えた日は
どこか遠くで誰かが泣いていて
届けられた手紙を読み上げてやれない事を
悲しく想う

天空の女神は悪戯な遊戯に耽っていて
僕らの事を見つめてくれない
だから涙の洪水はとめどなく溢れ
溺れ浮き上がれない

天使が消えた日は
どこかあずかり知らぬ所で炎が燃え盛っていて
焼け焦げた香草は
何とも言えない悪臭を醸し出す

天空の女神は悪戯な遊戯に耽っていて
僕らの事を見つめてくれない
だから白夜はいつまでも終わる事無く
白々しいほど眠れない

LOST ANGEL
LOST ANGEL

天使が消えた日
子供達はその足跡を探しに旅に出た

信じていたものに裏切られた時
人は絶望という斬頭台の前に立ちすくみ

記憶をせめて金庫の中にしまい込み
己の存在を残そうとするが・・・

それは諦めと言う名の刻まれた石碑に似ている
死に至ろうとする時誰もが経験する祈り
それが届かない 天使が消えた日
遠くで誰かの首が飛んだ

群衆は次は私の番かと恐れおののき
我先に逃げようとする
その先には何処まで行っても斬頭台が
無限に連なっている

信じていたものに裏切られた時
人は絶望という絞首台の上で震え上がり
孤独という名の最終列車の終点で
車掌さんが夢から起こしてくれるのを待っているに違いない・・・

LOST ANGEL
LOST ANGEL

天使が消えた日
世界は闇に包まれ希望は刈り取られた 悪魔がはびこった

天空の女神は悪戯な遊戯に耽っていて
僕らの事を救ってくれない
せめてもの反抗もその美脚の先の爪のペディキュアに
微かな傷跡を残すに過ぎなかった

僕らに術はないのか 本当はないのか
助けてくれ 神よ

いるのだろう声を聞かせてくれ
悲痛な嘆きの叫びを

僕らに術はないのか 本当はないのか
助けてくれ 神よ
いるのだろう声を聞かせてくれ
悲痛な嘆きの叫びを

世界の中心でぐるぐる回る竜巻のような疾風迅雷の勇者が
現れ獅子奮迅の戦いをしたが
愛するカミという者を失って酒に耽る女神に負けて
死んだ

LOST ANGEL
LOST ANGEL

天使が消えた日
僕らは老人の様に無力だった

旅に出た子供達はみんな戻らなかった
あまりに無垢すぎた ファンタジックな世界に
囚われ精神を破壊されてみんな廃人になった
希望の種はこれにて終焉を迎えた 語り部は黙った

D a n g e r L o v e (A A) (前 書 き)

少女の恋愛観ってこんな感じじゃない？

D a n g e r L o v e (A A)

カッコ良すぎて困っちゃうの

貴方だけ見つめてる

だって I n e e d y o u

導火線に火がついたら止まらない ボーン

爽やかな炭酸ジュースのように

時に刺激的

イケズな貴方

私だけ見つめてよ

呪文を唱えて虜にしたい

私だけの味方 素敵な H E R O

カッコ良すぎて困っちゃうの

貴方だけ見つめてる

だって I l o v e y o u

導火線に火がついたら止まらない ボーン

D a n g e r L o v e

溢れそうよ 雨に濡れて

どしゃぶりの中

貴方が傘を差し出しただけでドキュン ドキュン

トキメキが止まらない

今日1日とても楽しくて

眠れないの

貴方を思い出して 体が火照ってしょうがない

お風呂にでも入って私の肢体を眺めて

煮詰まっちゃう 茹蛸みたいに ちよつと長風呂しすぎたみたい
貴方のせいよ

D a n g e r L o v e

溢れそうよ 雨に濡れて

どしゃぶりの中

貴方がレインコート貸してくれただけでドキュン ドキュン
トキメキが止まらない

今日1日とても楽しくて

眠れないの

貴方を思い出して 体が火照ってしょうがない
ファッション雑誌を読み耽って貴方が気に入る服を探す

キラキラ目を光らせてP r i c e確かめる 私のP r i d eが疼く

伝えたいの この気持ち 譲れないわ 誰にも

Y o u a r e m y a n g e l

天国にイカせて

ぎゅっとお人形さん抱きしめて眠る

私ロマンティック カワイイはずよ

食べて欲しいわ D a n g e rにブラジャー外して・・・妄想だよ
ちよつとお子ちゃまな私

軽やかなスニーカーのように

時にスタイリッシュ

イケズな貴方

私だけ見つめてよ

呪文を唱えて虜にしたい

私だけの味方 素敵なH E R O

D a n g e r L o v e D a n g e r L o v e

後悔しないわ

危ない橋だと知っていても

貴方が必要なの 貴方だけ見つめてる

だって I L o v e Y o u

N a s t y m e d i c i n e (B B) (前 書 き)

僕悪い大人なんです・・・。もしかしたら統合失調症になったのは
ドラッグのせいかもしれないんです。合法でしたが。

N a s t y m e d i c i n e (B B)

h a h a h a h a h a h a

自分の顔を見て大笑いしている奴がいるぜ

彼は何が面白くて笑っているのか

僕はクスリやってる

とびきりのやつさ ドーパミンドバドバ

見えてはいけない物が見える

狂ったように踊り血液を干からびさせる

いつ死んでも構うもんか そんな気持ち分かるかい？

h a h a h a h a h a h a

ティーヴィーに向かつて話し掛けてる奴がいるぜ

彼は何が悲しくてそんな自棄を起こしているのか

N a s t y m e d i c i n e

酷い話だけどこの世は苦しい事ばかりで出来てる

楽観主義者は言うのさ お前は生きるのに向いてない

ならばやっぱりさっぱり死んでやろうか

死んだように生きてみようか

楽して大儲け出来ればそれでいいじゃないか セーメーホケン

眠りが思考を邪魔する

二十四時間 コンビニ状態でいたいのに

僕はクスリをやってる 淫らなクスリさ

彼女は狂ったように踊り愛液を干からびさせる
そんなA B A C T R E S S 何が楽しいのか

貴方と電波で繋がりたい ネットシャカイ
酷く頭が痛い ホントは遺棄死体

嫌いなP o l i c eに追われてるんだ そんな幻想 綺麗

不愉快だ ナニって僕の詩さ でもさ詩うよ

南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏
いつかは消える 我慢してくれ

N a s t y m e d i c i n e ホントはキカナイ
お前の話なんて聞いてない
苦いクスリは良薬 甘いオブラートで

H a p p yな夢は寝ながらみてもイイ
R e a lでみてもイイ

イイもんはイイ

楽しい事だけ追いかけてそれでイイんじゃない？
誰も否定なんてしないさ
クスリのリスクは10年 払えばイイんだろ？

僕は蝶になる 紫の蝶に
捕まえないでくれよ 美しく羽ばたく
それも幻 生まれ変わったら行くよ 幾夜越えて貴方の元へ

僕の事好きかい？好きかい？それだけ・・・
愛してる 来世も きっと僕は正しい

こんなにも震えてる Little Boy 貴方はNasty
girl
僕のmedicine

B l o o d t y p e A B (A A) (前 書 き)

父がA B型なんですよ。なのでモデルは父であり、他のA B型の人に当てはまるとは限りません。

B l o o d t y p e A B (A A)

僕は B l o o d t y p e A B
いつも考えていないと気がすまない

立ち止まったり休んだりしたら死ぬと
マジで信じ込んでる

僕は B l o o d t y p e A B
ストイックなストマック
時折断食等を始めて1週間何も食わずにいても平然としている

嘘を付いたり勉強を怠ると死ぬと
マジで信じ込んでる

僕は B l o o d t y p e A B
人は言う　貴方は天才ね
そんな賞賛は安っぽくて僕は無視する

生まれて来た事に感謝しなかったり御飯を残したりしたら死ぬと
マジで信じ込んでいる

僕は B l o o d t y p e A B
少しエロくてアダルトビデオが好きだったりするが
自慰行為は生まれてから一度もした事がない　本当だ　手が汚れる
から

風邪を引いて会社を休んだり朝のラジオ体操に参加しなかったら死ぬと

マジで信じ込んでいる

僕はB l o o d t y p e A B

ストイックなストマック

時折断食等を始めて1週間何も食わずにいても平然としている

けれども結構なグルメで美味しい物には目がなく酒の肴は高級品でないとい気が済まない

けれども節約家で無駄遣いしたりギャンブルに手を出したりしたら死ぬと

マジで信じ込んでる

僕はB l o o d t y p e A B

メンタルヘルスや心理学には全く興味がなく

いつも長編小説や経済書や哲学書を読み耽っている

食器を灰皿にしたりプラスチックゴミを切り刻んだり凶暴さを失ったら死ぬと

マジで信じ込んでる

僕はB l o o d t y p e A B

好き嫌いが激しく激情家

人には変わってるねとか酷い時には世界最低の男ねとか言われたりする

でも女の言う事だからあんまり気にしないようにしている

こないだストレスを溜め込みすぎて30代なのに狭心症になったでも別に驚かない 死ぬ事を全く恐れない良く分からないけど中々の楽道家

僕はB l o o d t y p e A B

この世で一番嫌いなものは何ですかと問われれば血液型占いですと
答える

T h e e n d o f t h e w o r l d (B B) (前 書 き)

I p r a y S E X の 訳 は 遊 ぶ じ ゃ な く て 演 じ る な の で 、 僕 が エ
ロ 本 を 見 る 行 為 と 同 じ な の か な 。

The end of the world(BB)

Crush 自分を壊せ Break 世界を壊せ Suic
ide 自分を殺せ Look at! Wanderland
Crush 自分を壊せ Break 世界を壊せ Suic
ide 自分を殺せ Look at! Wanderland

I don't like heaven's world.

Where is my black sky?

Are you stay by my side?

But you are lost.

Crush 自分を壊せ Break 世界を壊せ Suic
ide 自分を殺せ Look at! Wanderland
Crush 自分を壊せ Break 世界を壊せ Suic
ide 自分を殺せ Look at! Wanderland

I am fond of drinking. I play
SEX.

Don't tell anybody we are love
r.

Are you stay by my side?

But you are lost.

Crush 自分を壊せ Break 世界を壊せ Suic
ide 自分を殺せ Look at! Wanderland
Crush 自分を壊せ Break 世界を壊せ Suic
ide 自分を殺せ Look at! Wanderland

I hope the end of the world .

Crush 慙愧の中で Break 酒に耽溺し Suic

ide 自分を殺せ Look at! Wanderland

Crush 慙愧の中で Break 酒に耽溺し Suic

ide 自分を殺せ Look at! Wanderland

I hope the end of the world .

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1121t/>

パソコンのゴミ箱3(狂人仮死バージョン)

2011年11月17日18時32分発行